



公益社団法人  
富山県看護協会  
Toyama nursing association

# 令和5年度 訪問看護に関する事業報告会

富山県訪問看護総合支援センター

令和6年3月16日



日本看護協会「看護の日」キャラクター  
富山県かんごちゃん

# プログラム

時間	内容
13:30	富山県看護協会長 開会あいさつ
13:40	令和5年度訪問看護に関する事業報告会 1. 専門性の高い看護師による地域支援について 2. 病院看護師の訪問看護事業所での出向研修 3. 新卒訪問看護師の教育・育成について
13:50	
14:15	
	休憩 (14:50~15:00)
15:00	【グループディスカッション】 テーマ：「訪問看護師の確保と質の向上を図るための、 自施設の役割を考える」
15:45	発表
15:50	富山県訪問看護総合支援センターからの連絡事項
16:00	閉会

# 専門性の高い看護師による 地域支援について

令和6年3月16日（土）  
富山県済生会富山病院  
看護部長 瀬山 尚子

## 在宅患者訪問看護指導料

2012年～診療報酬改定

専門性の高い認定看護師と訪問看護ステーションの看護師が情報交換し、同行訪問等を実施することで、在宅にいても、病棟と同じように質の高い看護を提供できる。

- ✓ 自施設への受診歴がない患者さんでも可能
- ✓ 認定看護師を派遣した施設（病院）に診療報酬（在宅患者訪問看護指導料:1,285点）  
→悪性腫瘍の患者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門及び人工膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師による場合

## 当院の活動

• 2013年4月～皮膚・排泄ケア認定看護師が活動開始

### 【活動開始の動機】

済生会富山病院周辺の介護保健施設・療養型病院からの転院搬送患者に褥瘡を認めるケースが多かった。

2012年：79名/年

ステージⅡ（真皮損傷）～ステージⅢ（皮下組織）を超えた状態であり、局所治療に難渋していた。



地域交流会、地域での研修会に出向き、活動をPR

## 当院の活動

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (12月まで)
対象者数	8名 褥瘡8名	7名 褥瘡5名	5名 褥瘡4名	7名 褥瘡5名	12名 褥瘡9名
活動回数	11回	8回	11回	16回	14回
治癒率 改善率	評価未	60% (3名) 40% (2名)	— 100% (4名)	40% (2名) 60% (3名)	56% (5名) 経過観察中 (4名)

- \* 2020年より、報告体制の仕組みを作り評価している。
- \* 現在は、バイタルリンクを利用することで対応件数が増加してきている。

# 当院の活動

**「専門・認定看護師と訪問看護師の同行訪問」を開始しました。**

当院では、在宅療養中の方へ「専門性の高い看護師（専門・認定看護師）と訪問看護師による同一日訪問」に取り組んでいます。是非、お気軽にご依頼ください。

同行訪問を通して、訪問看護ステーションの皆様と在宅ケアにおける看看連携を充実させていきたいと考えています。

対象となる患者（利用者）さん

- ・緩和ケア（がん）に関連した症状がある
- ・がん他併発しやすい症状がある
- ・療養がますますよくなる見込みがある
- ・人工肛門・人工膀胱の管理に困っている

【同行する看護師】  
 がん看護専門看護師  
 緩和ケア認定看護師  
 がん化学療法看護認定看護師  
 皮膚・排泄ケア認定看護師  
 です

お問い合わせ先  
 富山県済生会富山病院  
 地域医療連携室  
 076-437-1120（直通）

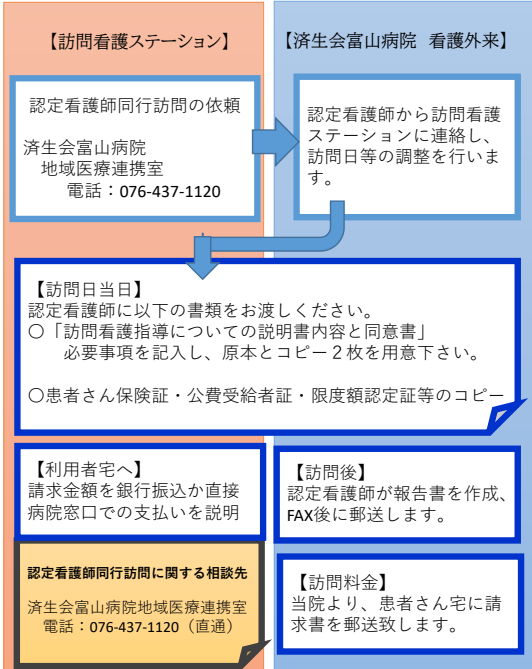
【利用料金】  
 1割負担 1,290円  
 2割負担 2,570円  
 3割負担 3,860円

**【同行する看護師】**

- ✓ がん看護専門看護師
- ✓ 緩和ケア認定看護師
- ✓ がん化学療法認定看護師
- ✓ 皮膚・排泄ケア認定看護師

2023年より、がん関連についての取り組みも開始。近隣の訪問看護ステーションにパンフレットを配布しPR

# 専門・認定看護師同行訪問に関する申し込みフロー



# 課題と今後の取り組み

- ・皮膚・排泄ケア認定看護師の活動は定着したが、がん関連の依頼がないため、地域へのPR活動が不十分であると考えている。
- ・今後は、近隣への訪問看護ステーションやかかりつけ医に地域連携の会等を通して、積極的に広報活動を展開していきたい。

ご清聴 ありがとうございました

# 専門性の高い看護師による 地域支援

(県西部の活動)



厚生連高岡病院 副院長 看護部長 秋山朝子

## 1. 厚生連高岡病院の取り組みの経緯

- 以前より当院の認定看護師が地域の開業医から認知されず、自分のアドバイスが在宅で活かされない現状がある事を相談されていた。

<皮膚・排泄ケア認定看護師>

「薬の変更をアドバイスしても、『どの立ち位置で意見しているのか!』と在宅医に取り合ってもらえない」



- 「訪問看護師スキルアップ研修事業」に参加し、地域の訪問看護師から「専門性の高い看護師」の地域支援へのニーズがあることがわかり、もっと地域の資源として活用していただきたいと感じた。
- 富山県看護協会としても「専門性の高い看護師による同行訪問」の活性化に取り組み、病院所属の専門性の高い看護師と訪問看護ステーションとの連携促進を図っておられることを知った

## 2. 厚生連高岡病院の取り組み経過

1. 認定看護師による地域活動についての調査および仕組みづくり

- ①指導料算定に直接結びつかないが、相談は多い
- ②「在宅患者訪問看護・指導料3」算定の仕組みを作ってもらえるとありがたい
- ③医師・医事課・看護部・訪問看護ステーションで協働しシステムを構築した

2. 「専門性の高い看護師」のアピール

- ①当院地域医療支援病院委員会で各医師会代表者（高岡・射水・氷見）に情報提供した
- ②当院ホームページに「専門性の高い看護師による同行訪問のお知らせ」を掲載
- ③高岡医療圏訪問看護ステーションサポート事業研修会及び高岡医療圏がん患者在宅医療・療養支援研修会で「専門性の高い看護師による同行訪問」の説明を行った

## 3. 厚生連高岡病院の取り組み実績

1. 「在宅患者訪問・指導料3」 算定数

	皮膚・排泄ケア	緩和ケア
2023.4月	0	1
8月	0	1
11月	3	0
12月	7	0
2024.1月	2	0
2月	1	1
合計	13	3
	16	

2. 相談件数は増加傾向
3. 高岡医療圏訪問看護ステーションサポート事業研修会の参加者へのアンケート調査

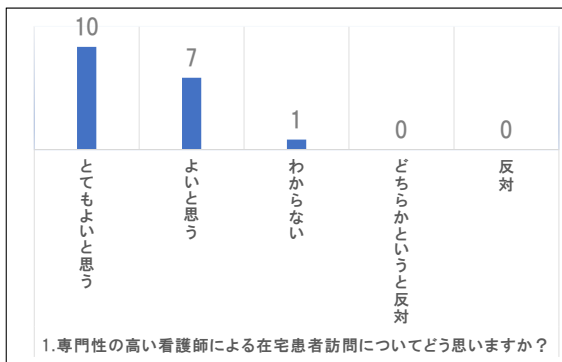


### 3.厚生連高岡病院の取り組み実績

#### ・訪問看護師へのアンケート結果

(高岡圏訪問看護ステーションサポート事業研修会 参加施設22か所 回収率81.8%)

#### 1. 専門性の高い看護師による在宅患者訪問についてどう思いますか？

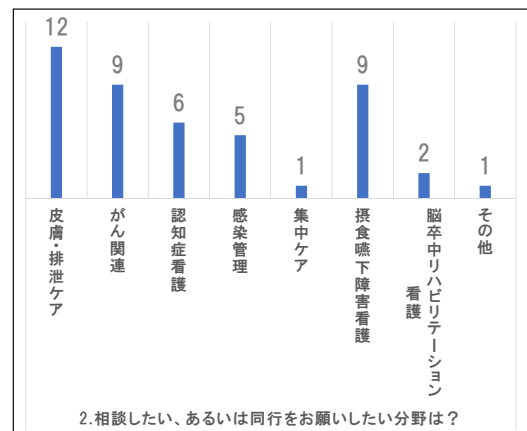


・日々迷うことも多く、相談・同行できる事でよりよい看護の提供につながる

・利用者にとって有益  
新しい情報（知識）や技術を得られるから

### 3.厚生連高岡病院の取り組み実績

#### 2. 相談したい、あるいは同行をお願いしたい分野は？

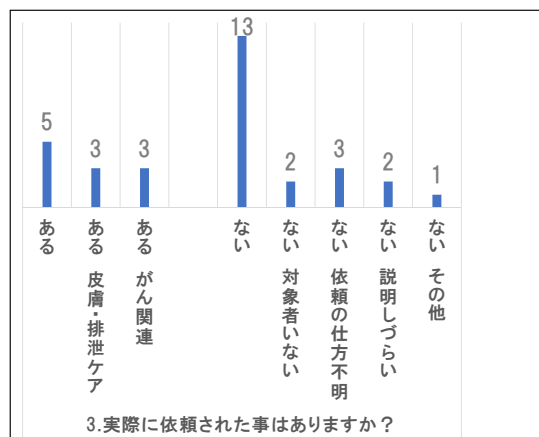


・受診がスムーズにできない方が増えてきた

・在宅で過ごす方々で食事がとれなくなっていくケースが多い為

### 3.厚生連高岡病院の取り組み実績

#### 3.実際に依頼されたことはありますか？



・この仕組みを知らなかった

### 4. 高岡市公的4病院看護部長会議の開催

#### 1. 専門性の高い看護師による地域支援について

##### 1) 各病院の取り組みを共有

- ・マンパワー不足があり、実際タイムリーな院外活動が厳しい
- ・地域には【算定できない分野の活動ニーズ】もある

##### 2) 今後の課題

- ・各施設ごとでは限界があるので、展望として「認定看護師人材バンク」のような体制をつくる事が可能か
- ・現在、算定できない分野の活動に関しても、補助金等行政に働きかけてほしい
- ・自施設のスタッフを守る為にも、ベースとなる条件（共通ルール：医療安全・感染管理・情報セキュリティ）を検討する



令和5年度

## 訪問看護に関する事業報告会

### 病院看護師出向事業報告

令和6年3月16日

労働者健康安全機構 富山労災病院

看護部長 炭田 恵

## 病院看護師出向事業の目的・目標

### 目的

- 病院看護師が一定期間、訪問看護ステーションに出向し、訪問看護への理解を深める
- 退院支援に必要な知識や技術の研修を行う
- 地域包括ケアシステムを担う関係諸機関との連携の実際を学ぶ

### 目標

- 在宅における看護の役割を理解し必要な支援について学ぶ
- 事例を通し、患者の療養環境や家族アセスメントができる
- 地域包括ケアシステムを担う関係諸機関との連携の実際を学ぶ

## 当院における研修参加目的

### 1 訪問看護の実践を通して、病院看護師の在宅療養支援能力の向上

- 患者の退院後の生活に触れ、退院支援について考えることができる
- 訪問看護の実際を学び、看護力の多様化を図る
- スキルアップ

### 2 地域における「訪問看護の担い手の育成」

## 患者のneedsに合わせ オールマイティーに看護実践できるか

### 【日常生活援助】

- ◆ 状態観察 話の傾聴
- ◆ 内服薬の管理状況確認・内服薬セット
- ◆ 清潔ケア（清拭、陰部洗浄、シャワー浴介助、入浴介助）おむつ交換 口腔ケア 摘便
- ◆ リハビリ 下肢筋力維持訓練 関節拘縮予防運動

※その他利用者に合わせたプログラムの実施等

### 【医療的処置】

- ◆ 血糖測定・自己注射
- ◆ 吸痰・トリロジー装着
- ◆ 気切チューブガーゼ交換
- ◆ カフティーパーンプ操作
- ◆ CVポート穿刺・抜去・ロック・ルート交換
- ◆ ストーマパウチ交換
- ◆ 褥瘡処置
- ◆ 尿カテ交換・膀胱洗浄・膀胱瘻洗浄・腎瘻管理等

## 研修の学び ～オールマイティに看護実践できる能力～

訪問看護、地域包括ケア病棟においても

⇒ 自己の経験値を十分に活かして

- 1 対象者・介護者との関係性の構築力
- 2 ねぎらい、励まし安心をもたらす対応
- 3 悪化の兆候を見逃さない見極めるアセスメントの重要性  
→ 臨床推論の強化
- 4 利用者・介護者・看護師の視点で俯瞰的に見てまとめる力

## 研修の学び ～共に学び、共に育つ～

◎出向先の環境調整に感謝

指導する体制が整えられ安全で安心できる環境の中での研修  
研修生澤田が生き生きした表情で報告

「研修していて学びが多く楽しい」

⇒視野の拡大：研修による成長を実感

⇒動機づけや自立した学習ができるよう支援

## 研修後の期待

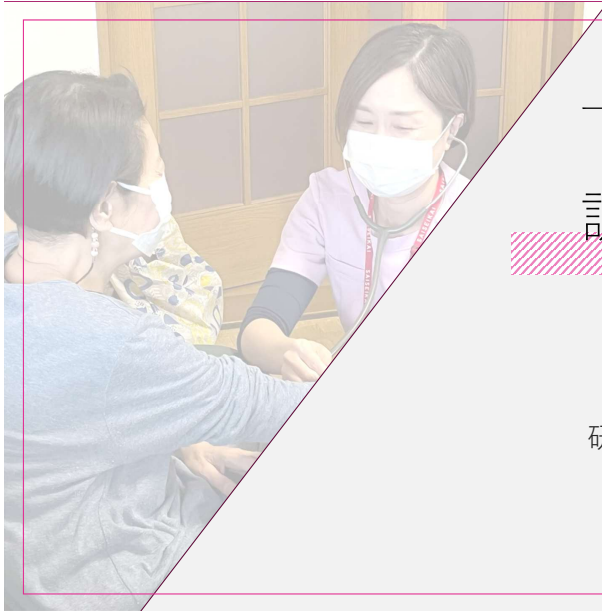
◎退院前・退院後訪問の実施、継続、定着

◎訪問看護への動きに対して

- ・学習の継続：令和6年度特定看護師研修受講
- ・臨機応変に対応できる人材の確保・仲間づくり
- ・ロールモデル

このような多くの学びの機会をくださった富山県及び富山県看護協会、  
研修場所の済生会富山病院、訪問看護ステーション  
の皆様に深く感謝申し上げます。





一病院看護師出向研修事業一

## 訪問看護研修報告

研修期間：9月1日～11月30日

令和6年3月16日  
富山労災病院 澤田 明子

はじめに

### 在宅復帰支援の強化

ADLの維持・向上

生活の質の担保

介護者の不安軽減

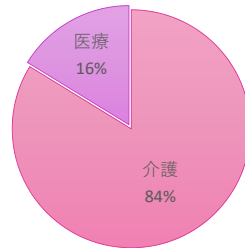
- ① 在宅における看護の役割を理解し、必要な支援について学ぶ
- ② 在宅で患者が安心して安全な看護が受けられる体制と病院看護師・訪問看護師の役割をについて学ぶ
- ③ 看護師経験を最大限に活かし、療養環境や家族機能のアセスメント、患者のケアについて学ぶ



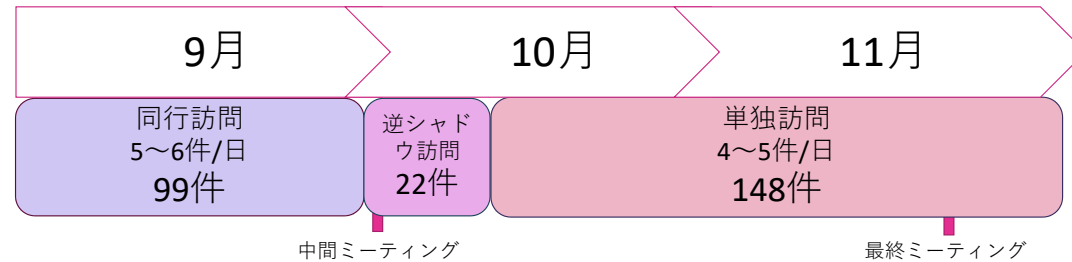
済生会富山訪問看護ステーション (富山市)  
サテライト (舟橋村)：滑川市及び中新川郡  
(舟橋村、上市町、立山町)

看護師：8名(特定行為看護師1名、育児短時間1名) 事務員：2名

利用者：160名 (サテライト20名)  
保険：医療26名 介護134名  
訪問件数：670～810/月  
受け持ち利用者：20～25名/看護師



### スケジュール



- ⬆ 病院とは異なる時間の流れ
- ⬆ 療養の場へ行き、利用者主体の看護

- ⬆ 自分で判断し、処置を行う責任の重さ

- ⬆ 在宅では病院とは異なるスキルが求められる
- ⬆ 自身のフィジカルアセスメント能力が必要

## 単独訪問を実施した利用者の背景

件数：148件 42名

保険：医療5名 介護37名

年齢：28～96歳

病名：心不全、糖尿病、認知症、脳梗塞、  
脳出血、肺癌、前立腺癌、大腸癌、  
腎不全、パーキンソン、骨粗鬆症等

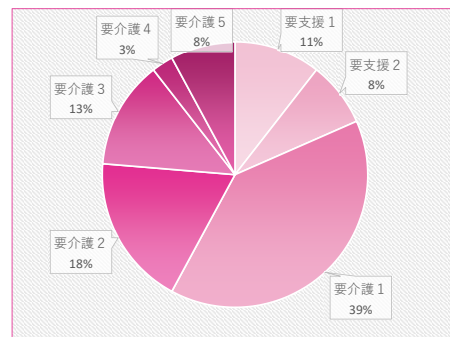
家族背景：単独（ケアハウス、サ高住）35%

親と子のみ（核家族）31%

夫婦のみ 19%

三世代 14%

利用頻度：1～2回/週 受け持ち利用者4名



## 単独訪問の内容

サービス：I-2 (21～29分) 62%・I-3 (30～59分) 26%・医療(90分未満) 12%

### 【日常生活援助】

- ▶状態観察 話の傾聴
- ▶内服薬の管理状況確認
- ▶内服薬セット
- ▶清潔ケア（清拭、陰部洗浄、シャワー浴介助、入浴介助）  
おむつ交換 洗腸、摘便  
口腔ケア
- ▶リハビリ 下肢筋力維持訓練  
関節拘縮予防運動
- ▶その他利用者に合わせて  
プログラムの実施等

### 【医療的処置】11名/34名

- ▶血糖測定、自己注射
- ▶吸痰 トリロジー装着
- ▶気切チューブガーゼ交換
- ▶カフティポンプ操作
- ▶CVポート穿刺・抜去  
ロック・ルート交換
- ▶ストーマパウチ交換
- ▶褥瘡処置 浣腸
- ▶尿カテ交換 膀胱洗浄 膀胱瘻洗浄  
腎瘻管理等

## 訪問看護師としての学び

### ◆アセスメント力と看護の提供

◆訪問回数を重ねたことでの少しの変化の気づき

◆看護の評価を担当看護師と共有

### ◆利用者、介護者の生活をよりよく

◆退院後の生活のギャップや困っていることを傾聴

◆家族の協力やケアマネとの相談・介入方法の変更

### ◆予防看護と重症化予防

◆看護計画に基づいたケアの実施、評価・修正

◆状態変化時の病院との連携

◆主治医・ケアマネージャーへの情報提供

## 病院看護師としての学び

### ◆情報収集と介入の必要性

◆在宅での生活や介護者やサービスの利用状況

◆治療や今後の生活スタイルの変化のアセスメント

### ◆本人・介護者の思い

◆退院後の生活をどのようにとらえているのか

◆退院後のサービスの検討

◆在宅でのイメージ作り

### ◆退院指導をすることの重要性

◆本人・家族への指導

◆不安・負担の軽減

# 今後の活動

- ✦ 在宅で療養生活を送れる患者のイメージの変化
- ✦ 住み慣れたところでの暮らしを支える
- ✦ 生活全体を捉え多職種との連携・調整力
- ✦ 退院支援の重要性の再確認



- ✓ ロールモデルとして実践
- ✓ 体制の整備

## 在宅復帰支援の強化

ADLの維持・向上

生活の質の担保

介護者の不安軽減



富山県看護協会・済生会富山病院・訪問看護ステーションスタッフ・富山労災病院  
このような機会を与えてくださりありがとうございました



## 病院看護師出向研修報告

済生会富山訪問看護ステーション



管理者 浅尾智子

## 済生会富山訪問看護ステーションの紹介

開設：2017年10月1日  
2021年 4月1日 舟橋サテライト

職員体制：看護師 常勤8名（管理者1名、時短勤務1名）  
事務員 非常勤2名（1名は週3回 半日）

利用者：2022年度 144名（月平均）  
2023年度 158名（4月～1月平均）

訪問回数：2022年度 676回（月平均）  
2023年度 709回（4月～1月平均）

## 研修の受け入れ準備

3

### ・スタッフへの説明

研修の趣旨、研修期間、研修受け入れ要綱など

### ・準備するものピックアップ

電子カルテ用パスワード（出退勤）  
カードキー（ステーション、更衣室に使用）  
更衣室ロッカー  
ユニフォーム  
訪問バッグ  
バイタル測定一式（血圧計 パルスオキシメーター 体温計など）  
ステーションロッカー  
訪問用自動車  
携帯電話

### ・研修スケジュールの決定

同行訪問の予定（担当看護師）  
単独訪問の予定（担当利用者の選出）

## 研修までのスケジュール

4

6月26日

病院看護師出向  
研修説明会  
(ZOOM)

7月

富山県看護協会と  
研修事業の協定書の  
締結

8月2日

出向研修事前  
打ち合わせ  
(済生会富山病院にて)

・ユニフォーム合わせ  
・必要物品の確認  
・看護師免許証コピー  
・運転免許証コピー  
・身上調書を預かる

8月4日

レンタカー業者に依  
頼  
使用期間の決定

訪問バッグ 血圧計  
パルスオキシメーター  
iPadキーボード準備

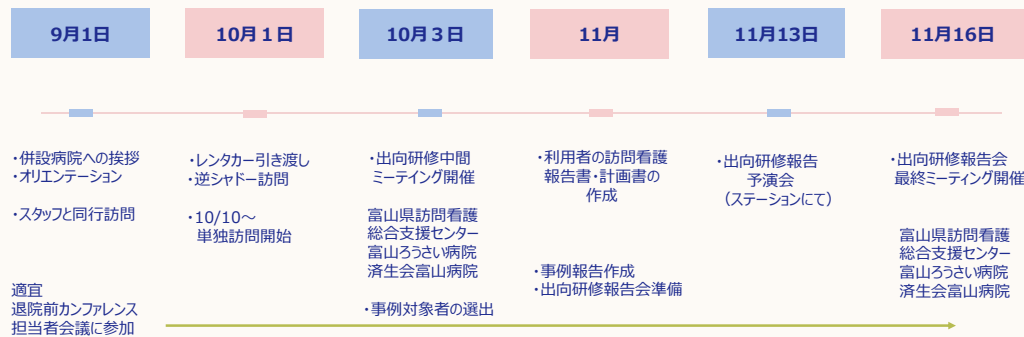
8月末

カードキー  
更衣室ロッカー鍵  
電子カルテ I D  
準備完了

訪問スケジュール完成  
スタッフへの周知

## 研修のスケジュール (9/1～11/30の3か月間)

5



## 出向研修指導内容

6

### 9月 日替わりでスタッフと同行訪問を実施

- ・訪問スケジュールは、1週間単位で作成する
- ・時間外勤務にならないよう訪問ルート进行调整する
- ・同行訪問を担当したスタッフは、毎日指導記録を記載する
- ・研修者は、毎日研修記録を記載し、金曜日に管理者に提出  
管理者は1週間の評価を記載する
- ・9月後半には訪問看護記録について説明し、数名の記録を行う
- ・訪問看護での細かいルールについて伝える  
(訪問先でのマナー、緊急時の報告・対応、主治医・ケアマネに報告すべき事項など)

## 出向研修指導内容

7

### 10月 担当利用者を決め単独訪問実施

- ・10月第1週目は、同行訪問で逆シャドーを実施する
- ・同行訪問を実施した利用者の中から担当する利用者を選択する
- ・朝のカンファレンスで自分の訪問スケジュールと看護の内容を簡単にまとめ発表する
- ・訪問終了後、利用者の担当看護師に状況を報告する
- ・担当利用者の訪問記録を記載する
- ・事例を決定し、利用者に同意を得る。介入内容や方法については、利用者の担当看護師、管理者と相談する
- ・訪問時持参する携帯電話、iPad、給油カードは管理者の物を使用する

## 出向研修指導内容

8

### 11月 単独訪問実施 訪問看護報告書・計画書の作成

- ・担当利用者の訪問看護報告書・計画書の作成について指導を受け作成する
- ・スタッフが休んだ際など代行訪問を行う(今まで訪問した利用者のみ)
- ・事例についてまとめ、研修報告会の準備をする

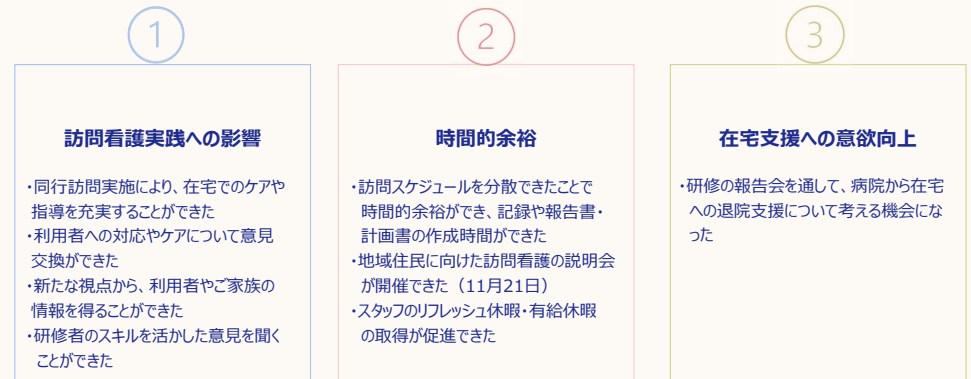


## 出向研修の実績



\* その他：ステーションが開催する、地域のケアマネージャー、訪問看護ステーション対象のZOOM勉強会に参加

## 出向研修受け入れの効果



## 出向研修受け入れを終えて

- ・3カ月間、スタッフの一員として働く中で、良い所も悪い所も含めて訪問看護の現状を学ぶことができたと思う
- ・勤務先の病院では、研修終了後、地域包括ケア病棟に配属となり研修だけで途切れず今後繋がる取り組みとなった
- ・今回、病院看護師出向研修に参加し、ステーションとしてもよい経験となり成長することができた

### ご清聴いただき ありがとうございました。





## 新卒訪問看護師育成試行事業報告

### 新卒訪問看護師の教育・育成 病院での教育・育成

令和6年3月16日（土）  
富山県済生会高岡病院  
看護部長 渋谷美保子

## 新卒訪問看護師育成試行事業

### ○目的

訪問看護師の需要拡大に応えるため、新卒訪問看護師の確保・育成は喫緊の課題である。しかし、県内では新卒訪問看護師の採用実績は乏しく、育成に必要な教育体制の構築に至っていない。このため、訪問看護ステーションを併設する公的病院等の協力を得ることにより、**教育体制の構築及び新卒訪問看護師育成プログラムの策定を目指す。**

## 新卒訪問看護師育成試行事業

### ○事業の内容

1. JNA看護師のクリニカルラダー到達を目指した教育・育成の実践及び評価
2. 新卒訪問看護師育成に必要な教育支援体制の構築及び育成プログラムの策定
3. 事業推進のための関係者会議、プログラム策定ワーキング等の開催
4. 報告会や育成プログラムの活用研修等の開催

### ○実施機関

令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間

## ■主な内容

- ・ 病院の概要
- ・ 事業の参加動機
- ・ 病院側が行ってきた教育・育成
- ・ 病院側に求められること



## 病院の概要

### 理念

『救療済生』の済生会精神に基づいて「やさしさ・信頼・安心」の医療を実践します。

- 開設者 社会福祉法人恩賜財団済生会
- 許可病床数 248床  
(看護単位) 急性期144床(7:1) 地域包括ケア52床(13:1)  
回復期リハ45床(13:1) HCU 7床(4:1)
- 標榜診療科 24科
- 職員数 503名 うち看護職員304名(令和6年2月現在)
- 病床稼働率(急性期・回復期併せて) 91.6%(令和6年1月)
- 地域医療支援病院 ● 富山県がん診療地域連携拠点病院
- 2次救急輪番病院 ● WHO・ユニセフ認定赤ちゃんにやさしい病院
- 初期臨床研修医指定病院(基幹型) ● 日本医療機能評価機構認定病院

## 病院の概要

### ベストミックスの医療を目指しています

急性期病棟  
HCU

地域包括ケア病棟  
回復期リハ病棟

訪問看護  
ステーション

高岡医療圏の特徴を踏まえ、住民が地域で安心して暮らすことができる医療の実現

## 事業の参加動機

### ▶ 看護職員の定着

### ▶ 地域に求められる専門性の発揮

今回事業が展開されることを知り、事業の目的が看護部目標に合致していたことから、看護部内や訪看管理者と話し合い、参加を決めた。

## 病院が行ってきた教育・育成

訪問看護ステーションへの配属可能性を伝えられず入職した新卒看護師28名にどう伝えどう動機づけるか、が最初の難題だった

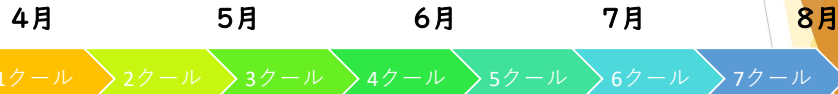
令和5年4月5日看護部ORで、当院のあるべき姿や看護部目標を実現するため新卒訪問看護師を今年度から育成していくことを説明した

初めは病棟で経験を積みたい  
いつかは行ってみたいけど・・・  
いろいろな技術を経験できないのが不安  
戻ったとき病院で役に立たなくなるのでは？

教育担当上席師長が、一人一人の思いや不安を聞き、まずはローテーション研修で訪看を経験することへの動機づけをしてくれた

## 病院が行ってきた教育・育成

4月～7月 ローテーション研修 → 8月配属決定



ローテーション研修は、コロナ禍で臨地実習が少なかったことに加え、急性期病棟と回復期病棟で経験できる看護技術に差が出てしまうことへの解決策としてR3年度から開始したものです。

R5年度から訪問看護ステーションをローテーションに組み入れたことで、個々の訪問看護への興味・関心の程度を知ることが出来た。

ローテーション研修を修了することが、当病院の一員になったという最初の帰属意識につながっていると思われる。

## 病院が行ってきた教育・育成

- 本人の意思を尊重しつつ、適材適所にかなう人選
- 病院の一員であることが実感できる支援体制
  - ・ ローテーション研修後、院内で開催している新人研修（社会人基礎力、リフレクションなど）も他の新人と同様に受講  
自己研鑽に該当する院内研修にも自主的に参加してくれた
  - ・ 訪看配属後も、病院の教育担当上席師長による定期的面談  
9月以降は定例2回・臨時2回その他、カウンセリング1回
  - ・ 訪看での振り返り会に病院側師長が同席
  - ・ 普段からの声掛け、配慮 など

## もうダメかも・・・と思ったことも。

- ▶ 訪問看護ステーションの経営が赤字で推移した
- ▶ 経営の視点で考えれば、新人2名の配属は無謀である
- ▶ 病院長には育成の経過を折に触れて報告し理解を得てきた

「未来につながる重要な事業に参画している」

## 病院側に求められること

- ▶ 経営陣の理解を得ること、理解を得続けること
- ▶ 訪看で経験できない看護技術を補う対策の構築
- ▶ 病院職員の一員だと当事者が思える風土や仕組みの構築

## みんなで育つ・みんなで育てる

- ▶ 次年度も、単独訪問できるまでに育ててくれた新人2人への敬意を持ちながら、訪問看護ステーションと病院が一丸となって育成していきます

ご清聴ありがとうございました

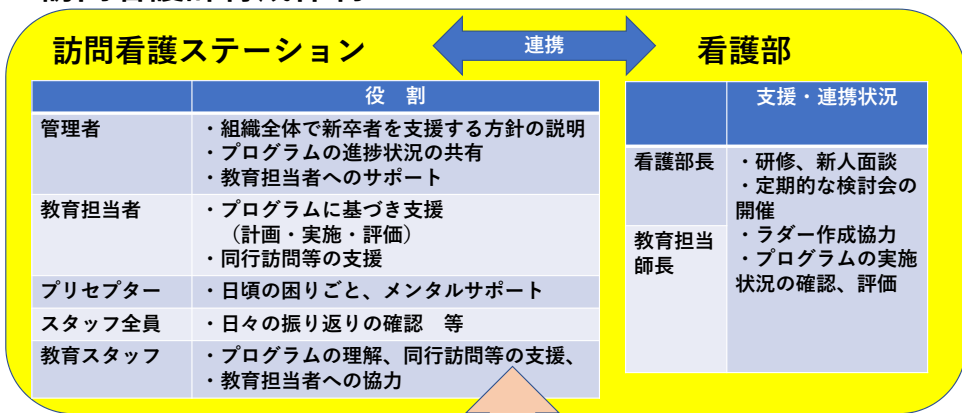


# 新卒訪問看護師の教育・育成

## 訪問看護事業所での教育・育成について

済生会高岡訪問看護ステーション  
管理者 齊藤 矢寿子

### 訪問看護師育成体制



#### 外部支援者による支援

- 富山県新卒訪問看護育成検討会【看護協会（県高齢福祉課委託事業）】
- 新人看護職員育成モデル病院事業【県医務課】
- 教育機関

### 済生会高岡訪問看護ステーションの概要

事業所の所在地：富山県高岡市二塚355-1

開設年月日：2018年4月1日

従業員数：看護師7人 保健師2人  
(常勤換算7.8人) ※新卒2人を含む  
理学療法士 1人  
事務員 1人

※実習指導者研修(特定分野)修了者 2名

2月現在 利用者数 127人 訪問件数 464件

加算状況 医)機能強化型訪問看護管理療養費3  
医)専門管理加算(緩和ケア)  
介)看護体制強化加算Ⅱ  
介)サービス提供体制強化加算Ⅰ

新卒訪問看護職員育成プログラム	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入職	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月
到達水準	配属 1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月
訪問看護研修①	目的：チームの一員として自覚を持ち、同行訪問を通じて訪問看護の基本を学び、助言を受け看護実践能力の向上を図ることができる 目標：訪問看護に必要な基本的態度を身につけることができる。利用者・家族を看護の対象と捉え、安心・安全・安楽を考慮、看護計画の立案や同行訪問により看護援助ができる			訪問看護研修② 目的：訪問看護師として助言を受け看護過程の展開ができる 目標：受け持ち利用者の看護過程の展開ができる 利用者に必要な医療処置や看護技術援助について受け実践できる。受け持ち利用者について他職種との情報共有や地域連携の実践ができる			訪問看護研修③ 目的：訪問看護師として助言を受け看護過程の展開ができる ②の継続とまとめ 目標：②の実践及び一部単独(後方支援)での看護過程の展開を試行	
OJT計画	オリエンテーション(概要) 見本型同行訪問 振り返り時間の確保	見本型同行訪問	見守り型同行訪問	見守り型同行訪問	時間差型同行訪問	時間差型同行訪問	時間差型同行訪問	同左 事例のまとめ
カウンセリング	カウンセリング①				面談②		カウンセリング②	
病院での新人研修	配属オリエンテーション(契約等)	プリセプター&プリセプティ	OJTシートのチェック	OJTシートのチェック				OJTシートのチェック
訪問看護ステーションでの研修			医療安全	感染管理	認知症ケア	医療安全	看護研究 感染管理	
研修内容							必要に応じ看護技術の習得や在宅療養連携等を学ぶ	
学研ナレッジ	学研ナレッジレポート 学研ビジュアルナレッジメソッド(看護技術助産) 学研訪問看護レポート(スタートアップ、経過、在宅看護実践、スタッフアップ後援コース)							
学研(看護)助産	在宅ケア事例検討会(8月)、新人看護職員研修(医療者に求められるコミュニケーション)(10月)、訪問看護従事者研修(11月)、居宅・地域包括等(必要時)							
カンファ	OJT計画の進捗確認 計画の追加・修正 ←指導者と新人ご	2回/月	2回/月	2回/月 振り返り	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月

# 結果

## 1 育成体制の整備

### ・皆で育てる環境づくり

ラダー・育成プログラムの作成、これらに基づく実践及び評価項目・方法の作成、皆で声かけし新人を育てる

職場の活性化  
につながった

### ・育成を通じて皆が学ぶ

新卒看護師に自分が行っているアセスメント、ケアとその根拠などを言語化し伝えることで振り返る機会になった

新規利用者の  
増加につながった

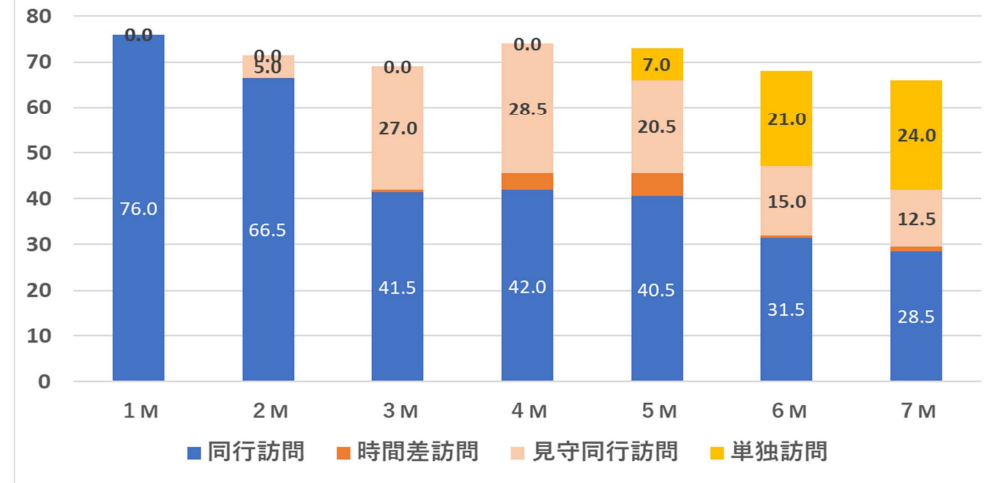
## 2 新人の成長

- ・単独訪問件数の増加、複数名訪問の実施
- ・ケアマネジャーや医療関係者への連絡

利用者の選定と  
教育ステップの  
整理につながった

5

### 1人当たり訪問件数（訪問形態別）



6

## 育成事業に参加して周囲の反応

### 1 利用者（家族）から

- ・若い人に来てもらうと元気がもらえる。
- ・最初は頼りないと思ったが、今はあまり思っていない。
- ・アドバイスも後から電話できちんとしてくれた。
- ・このまま続けて来てもらっても大丈夫。
- ・安心して任せられない。

### 2 地域の医師から

- ・これから、高齢化していくことが問題になるから若い人が訪問看護に興味を持って入ってくれたらいいことだね。
- ・いろいろ大変かもしれないけれど、続けてほしいね。
- ・新人を大事にし、育てる気概がないと廃れていくよ。など温かく、厳しいご意見をいただいた。概ね、利用者、家族には良い感想をいただいている

7

## 育成体制における課題

### 1 スタッフに対して：

- ①事業や対応等の説明：状況に合わせ対応を変化させたが、説明機会が少なかった→情報が十分伝わらないことがあった
- ②教育体制：訪問は利用者優先となり、教育担当と同行訪問ができないことが多かった→12月以降は教育担当を中心に同行訪問を目指したが困難、新人の状況に応じた支援が不十分
- ③課題の共有：意見交換の場が少なかった→迷いながらの対応、気になることあればその都度対応となった

8

## 育成体制における課題

### 2 新人に対して：

①同行訪問が多く、一人ひとりのケアに対し振り返りの時間が十分持てなかった

→時間の確保、共有の時間を持つことが経過とともに難しくなり、学びの支援が十分できない

②事業所の運営など経営視点：早くから持つこととなり、単独訪問を早く行うことへの負担につながった

③看護手順書などの準備不足

### 3 経営面として

①単独訪問が全てできるまでの期間の人件費の捻出が負担  
→当初病院負担の予定であったが訪問看護で計上。単月でR6年2月にようやく黒字となった。損益分岐を今後把握。

## 次年度へ向けての取り組み

- ・育成プログラムに沿った育成
- ・緊急コール・緊急訪問への対応
- ・退院調整、担当者会議、カンファレンスの参加  
困難事例を受け持つ
- ・新人、新任看護師との交流の機会を持つ

### →自律した訪問看護師への育成

**地域の中での訪問看護師としての姿（基礎）の確立をめざす**



# 1年目で訪問看護師になって

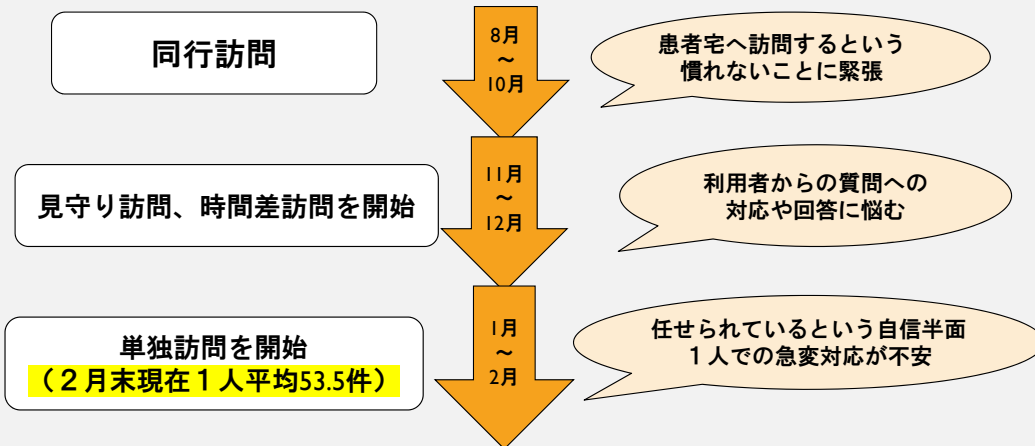
済生会高岡訪問看護ステーション  
黒田美緒 小坂成美

## 訪問看護に配属を希望した理由



在宅で患者さんに寄り添った看護を実践したい

## 心境の変化



## 訪問中の様子





## 不安と対応(当初)

### 不安

- ・ 単独訪問
- ・ 家族や多職種とのコミュニケーション
- ・ 医療処置の技術の習得

### 対応

- ・ 同行、見守り、時間差、単独と少しずつ段階を踏んで実践
- ・ 先輩の声掛けの仕方から真似
- ・ 経験を重ね、先輩から助言をもらう

## 勉強会（疑問への対応）



カテーテル固定方法



体幹保持困難な患者への車椅子移乗

実施する中での疑問点について勉強会を  
新人が主体で企画→実施

## 不安と理由(現在)

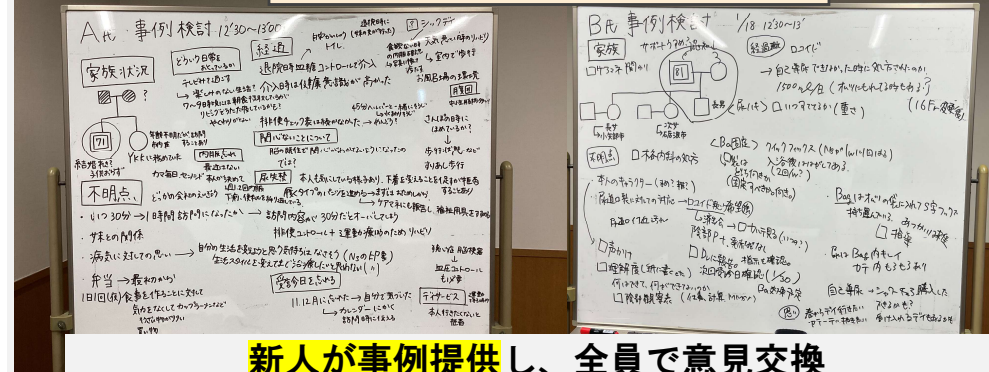
### 不安

- ・ 急変時の対応
- ・ 看護の質の維持
- ・ アセスメント

### 理由

- ・ 何度か急変対応へ同行しているが症状も多様なため不安
- ・ 利用者は新人が訪問することに対し心配がないか不安
- ・ 多面的に状態を捉える必要があるため不安

## 事例検討（アセスメント）



新人が事例提供し、全員で意見交換  
→自分の知らない利用者を知ることができた  
次回確認すべきことや支援の方向性が分かった



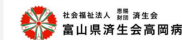
## 職場からのサポート



- ・ 訪問後や移動中の車内にて1対1で質問できるため、じっくり教えていただけて嬉しかった
- ・ 単独訪問の時にも先輩が気にかけて下さり、些細なことも報告相談することができて安心感があつた
- ・ 看護部での定期的な面談で悩みを表出しやすい環境が整っていた

現場では1人でも1人きりでやっているという感覚はなかった

## 学んだこと



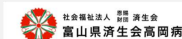
- ・ 地域で暮らす療養者の実際を知ることができた
- ・ 在宅→病院→在宅での療養生活をイメージできた
- ・ 本人の意思決定に向き合い正解のない看護を追求
- ・ コスト意識、経済的な視点を獲得ができた

## 成長したこと



- ・ 便処置などの在宅で必要とされる看護技術をじっくり獲得できた
- ・ 訪問看護では電話がナースコール。利用者の状況を把握し、優先順位を判断できる力がついた

## 今後さらに成長したいこと



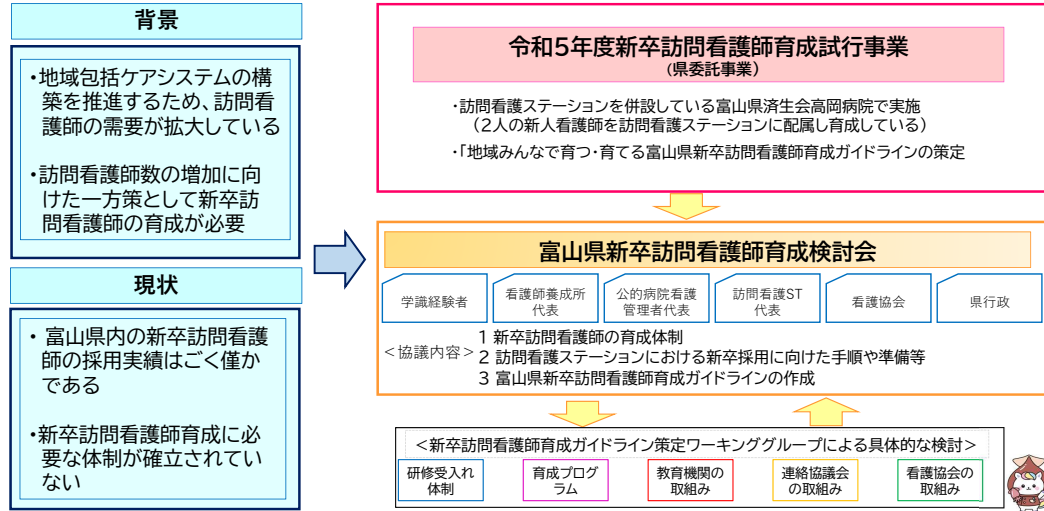
- ・ 訪問先でアセスメントして適切なケアを行うため、アセスメント力の向上を目指す
- ・ 技術や知識を身に着けて緊急時対応にも挑戦していきたい



# 地域みんなで育つ・育てる 富山県新卒訪問看護師育成ガイドライン

<報告>  
富山県訪問看護総合支援センター  
中嶋 育美

## ガイドライン作成の経緯

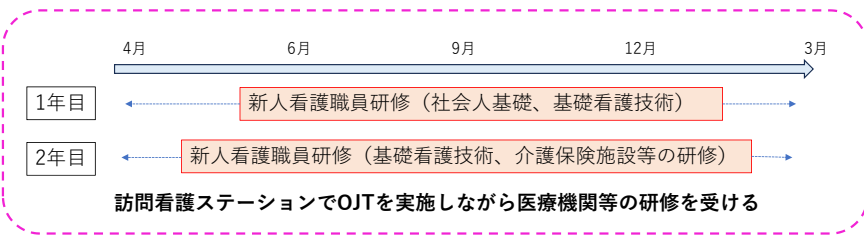


## ガイドラインの特徴

新卒訪問看護師を採用した訪問看護ステーションを中心として、関係機関が支援し、地域全体で育てる体制を構築する。

特に、施設外研修として、

- (1) 医療機関が行う新人看護師研修に参加し、看護職としての社会的責任や基本的態度や新人看護職員研修ガイドラインに沿った看護技術を習得する。
- (2) 必要時に応じて、介護保険施設や精神科病院での研修も行う。



## ガイドラインの目的・対象・活用方法

### (1) 目的

- 訪問看護ステーションに就職した新卒看護師が自律した訪問看護師として活動することができる。
- 看護専門職として生涯学習を続け、看護・医療・介護に関する最新の知識や情報を得ることで、安全な看護提供や自身の不安の軽減、キャリア形成に繋げる。

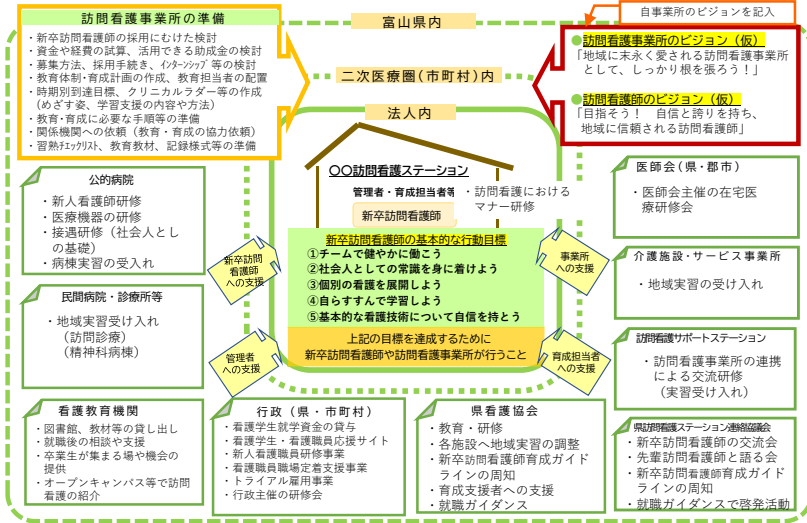
### (2) 対象

- 新卒看護師を対象とする。
- 期間は2年間とする。

### (3) 活用方法

- 訪問看護ステーションは、このガイドラインを参考に、新卒訪問看護師の採用・育成に必要な体制を整える。
- 訪問看護ステーションは、このガイドラインに示す育成プログラムを参考に、各事業の使命や役割に、即した実践的なプログラムに改編し、活用する。

“地域みんなで育て育てる” 新卒訪問看護師育成の概念図（案）  
～社会の期待に応えることのできる訪問看護師に成長することを目指して～



## ガイドラインの組み立て

- 序章**
  - **ガイドライン活用にあたり**
    - ・本県における訪問看護職員確保の課題
    - ・ガイドラインの作成経緯
    - ・ガイドラインの目的、対象、活用方法
- 第1章**
  - **新卒訪問看護師の採用・育成に必要な体制整備（訪問看護事業所）**
    - ・新卒訪問看護師の採用にむけて
    - ・新卒訪問看護師の教育・育成に必要なステップ
- 第2章**
  - **新卒訪問看護師の基本的な行動目標**
    - ・基本的な行動目標を達成するために新卒訪問看護師や訪問看護事業所が行うこと
- 第3章**
  - **関係機関・関係団体の取組み**
    - ・育成体制の概要
    - ・地域の医療機関や施設、職能団体、行政等の取組み
    - ・看護教育機関の取組み
    - ・各訪問看護事業所の取組み
- 第4章**
  - **新卒訪問看護師の育成プログラム**
    - ・新卒訪問看護師育成プログラムの組み立て
    - ・学習の概要と進め方
    - ・学習支援のための会議
    - ・育成状況の評価 等



## 第4章 育成プログラムの組み立て

- **1 基本的能力（社会人基礎力評価表）**
  - (1) 社会人としての基本姿勢
  - (2) コミュニケーション能力
- **2 看護師が看護実践を行うための必要な能力の習熟段階（ラダー）**  
日本看護協会「看護職の生涯学習ガイドライン2023」に基づいた「看護師のまなびサポートブック」の看護実践能力より「新人」と「レベルⅠ」を示す
  - (1) 専門的・倫理的・法的な実践能力
  - (2) 臨床実践能力
  - (3) リーダーシップとマネジメント能力
  - (4) 専門性の開発能力
- **3 訪問看護師看護実践能力評価表（ラダー評価シート）**  
看護実践能力習熟段階の【目標】と【行動目標】が習得状況を客観的に評価
- **4 新卒訪問看護師看護技術の到達目標・評価表（看護技術評価シート）**  
厚生労働省の「新人看護職員研修ガイドライン（平成26年）」に示されている新卒訪問看護師が、取得すべき看護技術の到達目標と評価



## 今後の予定

- 3月～
  - ・ワーキンググループによる新卒訪問看護師育成ガイドライン（案）の詳細な検討
- 9月末
  - ・新卒訪問看護師育成ガイドラインの完成
- 10月～
  - ・新卒訪問看護師育成ガイドライン活用に向けた周知活動
- 3月
  - ・2年間の総括、取り組みの報告



令和5年度訪問看護に関する事業報告会  
令和6年度事業計画・連絡事項

富山県訪問看護総合支援センター  
(R6.3.16)

富山県訪問看護総合支援センターの委託事業

※県高齢福祉課の委託事業

I 富山県訪問看護総合支援センター運営事業

1. 訪問看護支援強化事業

- ・訪問看護コールセンター(通年:相談対応)
- ・訪問看護の普及啓発(通年:6病院)
- ・訪問看護運営支援アドバイザー派遣
- ・小児医療対応力向上技術研修(日程調整中:座学・演習・実習:3日間)
- ・管理者育成研修(7月)
- ・事業報告会(3月) など
- ・関係機関・関係団体(連絡協議会)との連携 など

2. 訪問看護師人材確保事業

- ・富山県新卒訪問看護師育成検討会
- ・看護学生向け訪問看護インターンシップ(8月)
- ・訪問看護キャリア支援セミナー(7月と11月)

3. 訪問看護災害時等支援体制推進事業

- ・応援体制、BCP作成支援、シミュレーションの実施

富山県訪問看護総合支援センターの委託事業

※新規・拡大・強化事業

II 訪問看護・医療機関相互研修事業

- ・病院看護師の出自研修
- ・病院看護師研修受入事業
- ・訪問看護師スキルアップ研修事業
- ・新卒訪問看護師育成の体制づくり(ガイドラインの作成) など

III 訪問看護ステーションサポート事業

- ・訪問看護ステーションサポート事業(5か所をサポートステーションとして指定)

★ I・II・IIIに関しては、富山県訪問看護総合支援センターに問い合わせ  
076-431-0230

富山県訪問看護総合支援センターの委託事業

※県医務課と障害福祉課の委託事業

VIII 訪問看護推進事業

- ・在宅ケアアドバイザー派遣(在宅ケア事例検討会)
- ・医療機関等看護師の訪問看護ステーション研修

IX 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業

★ VIII・IXに関しては、富山県訪問看護総合支援センターに問い合わせ

076-431-0230

## 訪問看護に関する県の直接事業

※県高齢福祉課が直接実施事業

### IV 訪問看護・医療機関相互研修事業

- ・訪問看護ステーションのトライアル雇用(ステーションへの助成)  
→※トライアルは県の直接事業へ(新卒訪問看護師を含む)

### V 介護テクノロジー導入支援事業(ICTの活用)

### VI 訪問看護ステーション設備整備補助事業

- ・新規開設 ※補助事業所数が増加あり
- ・サテライト型
- ・多機能型開設

### VII 訪問看護師資質向上事業 ※補助事業所数が増加あり

- ・認定看護師教育課程
- ・特定行為研修課程

★ IV・V・VI・VIIに関しては、富山県高齢福祉課に問い合わせ  
076-444-3205

## 富山県訪問看護総合支援センターからの連絡事項

### 1 訪問看護ステーション実績報告書について

書式データは後日メールで送付いたします。一部内容を変更しています。  
令和6年4月30日(火)までに提出をお願いいたします。

### 2 令和6年度訪問看護ステーションに関わる事業について

令和6年度実施事業は、県厚生部高齢福祉課の資料(ホームページ)をご覧ください。

### 3 令和6年度訪問看護に関する研修等について

令和6年度の研修等は【別紙】のとおり予定しております。

いずれの研修も無料となっておりますので、計画的に受講していただき、スキルアップ等にご活用ください。

研修の詳細は、富山県看護協会発行の「教育研修計画」の冊子または富山県看護協会ホームページをご覧ください。

### 4 訪問看護のオンライン請求及びオンライン資格等について

令和6年6月から医療保険請求分の訪問看護レセプトのオンライン請求になります。  
(7月10日締切) 令和6年6月からオンライン資格確認も開始になります。(令和6年12月で保険証が廃止)

## 令和6年度 訪問看護に関する研修等 【別紙】

開催日	研修名	場所
6/28~12/6	「訪問看護e-ラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	看護研修センター
6月20日午後	富山県訪問看護ステーション連絡協議会総会	看護研修センター
7月6日(土)	訪問看護ステーション管理者育成研修会	看護研修センター
7月30日(火)	訪問看護キャリア支援セミナー(第1回)	看護研修センター
8月22日(木)	在宅ケア事例検討会①	黒部市民病院
8月24日(土)	精神科訪問看護師育成研修	看護研修センター
8月28日(水)	在宅ケア事例検討会②	厚生連高岡病院
9月3日(火)	在宅ケア事例検討会③	富山県立中央病院
9月12日(木)	在宅ケア事例検討会④	市立砺波総合病院
10月1日(火)	在宅ケア事例検討会⑤	看護研修センター
10月16日(水)	在宅ケア事例検討会⑥	真生会富山病院
11月1日(金)	訪問看護従事者等研修会	看護研修センター
11月30日(土)	訪問看護サミット2024(予定)	LIVE配信(予定)
11月12日(火)	訪問看護キャリア支援セミナー(第2回)	看護研修センター
10~11月	小児医療対応力向上技術研修(講義&実習)	
11月	東海・北陸ブロック交流会	福井県
10~11月	訪問看護運営支援アドバイザー派遣事業	オンライン
10~11月	訪問看護師スキルアップ研修	県内公的病院
3月15日(土)	訪問看護に関する事業報告会	看護研修センター



公益社団法人  
富山県看護協会  
Toyama nursing association

ご清聴ありがとうございました

令和6年度もよろしくお願いたします

詳細はホーム  
ページにアッ  
プ  
します

